

安倍内閣の社会保障切捨てリスト

- 医療** 70～74歳の窓口負担1割→2割
- 介護** 「要支援」認定者を保険外に
一定所得以上は利用料を1割→2割に引き上げ
特養ホームから要介護1・2をしめだし
- 年金** 支給額を毎年削減へ
支給開始年齢を65歳→68～70歳に

市民の“悲鳴”
受けとめて

**安倍暴走政治に
きっぱり対決**

いそがい和典 議員

(現) 2期8年、東湊校下・佐味町、64歳 【日本共産党】

いそがい和典を
押し上げて
怒りの審判を!

安倍政権が8月21日に閣議決定し、10月の臨時国会に提出する「プログラム法案」は、医療、介護、年金、保育などの改悪を、消費税増税と一体で国民に押しつけようとするものです。今でもくらしが大変なのに、許せません!



生活が大変! 悲鳴が!

▶6～7月に実施した「市民アンケート」より

「年金などが減額され、日用品が値上げ、そのうえ消費税アップ。生活できない状況になります。」(70代女性)

「賃金上げずに消費税だけ上げる安倍内閣は間違っている」(40代男性)

「若者がリストラにあって困っています。先が見えず苦しんでいます」(匿名)



「私たち商店は、物価や消費税が上がると、その分を値段に上乗せできず、商売が成り立たないので困っています。」(50代男性)

再稼働やめて、志賀原発電は廃炉に

9月15日に全原発停止。事故が起きれば能登は住めない場所に!

消費税4月増税は中止せよ!

社会保障の大改悪をすすめるながら...

**市に求められているのは
“くらし・福祉守る「防波堤」”の役目**

地方自治体の役目は「住民の福祉の増進を図る」(地方自治法第1条の2)ことです。安倍暴走政治から市民を守る対策が求められています。

負担軽減	●国保税の引き下げ ●介護保険料の引き下げ	市長に決断を迫ります	福祉充実	●子どもの医療費無料を18歳まで拡大 ●子どもの医療費を窓口無料に! ●介護慰労金の復活
仕事雇用	●住宅リフォーム助成制度の創設			

**市民の願いが届く市議会にするために
市議会にますます必要...いそがい和典議員**

問題です!

消費税増税中止求める請願 (2013年6月議会)	賛成はいそがい議員と他1名
子どもの医療費の窓口負担ゼロを求める請願(2011年9月議会)	いそがい議員だけ賛成
介護保険料引き上げの条例 (2012年3月議会)	いそがい議員だけ反対